

香川県立ミュージアム中期活動計画 令和元年度取組状況の評価

I. 評価にあたって

瀬戸内国際芸術祭などの取り組みによって、アートなどを通じた県内各地の地域振興が進められているが、地域に所在する有形無形の文化資源に価値や魅力を付加していくことは、県立ミュージアムが担うべき重要な役割であり、県立ミュージアムには、香川ゆかりの文化資源の収集・調査研究を行い、これらを地域資産として磨き上げ活用・発信するための拠点となるべき使命が与えられている。

この方針のもとで作成された「香川県立ミュージアム中期活動計画」では、『香川県文化芸術振興計画（平成30年度～平成34年度）』に基づき、同期間の平成30年度から令和4年度（平成34年度）までの5年間で、香川県立ミュージアムが重点的に取り組むべき使命や活動目標・内容等を定めている。

令和元年度は、計画の2年目に当たる。具体的に設定した14の活動目標ごとにそれぞれ具体的に活動内容を挙げているが、その活動内容の中でも特に県立ミュージアムが知の拠点となることを目指して重点的に取り組む7つの重点項目について成果の検証を行い、その結果を次年度以降の活動に活かそうとするものである。